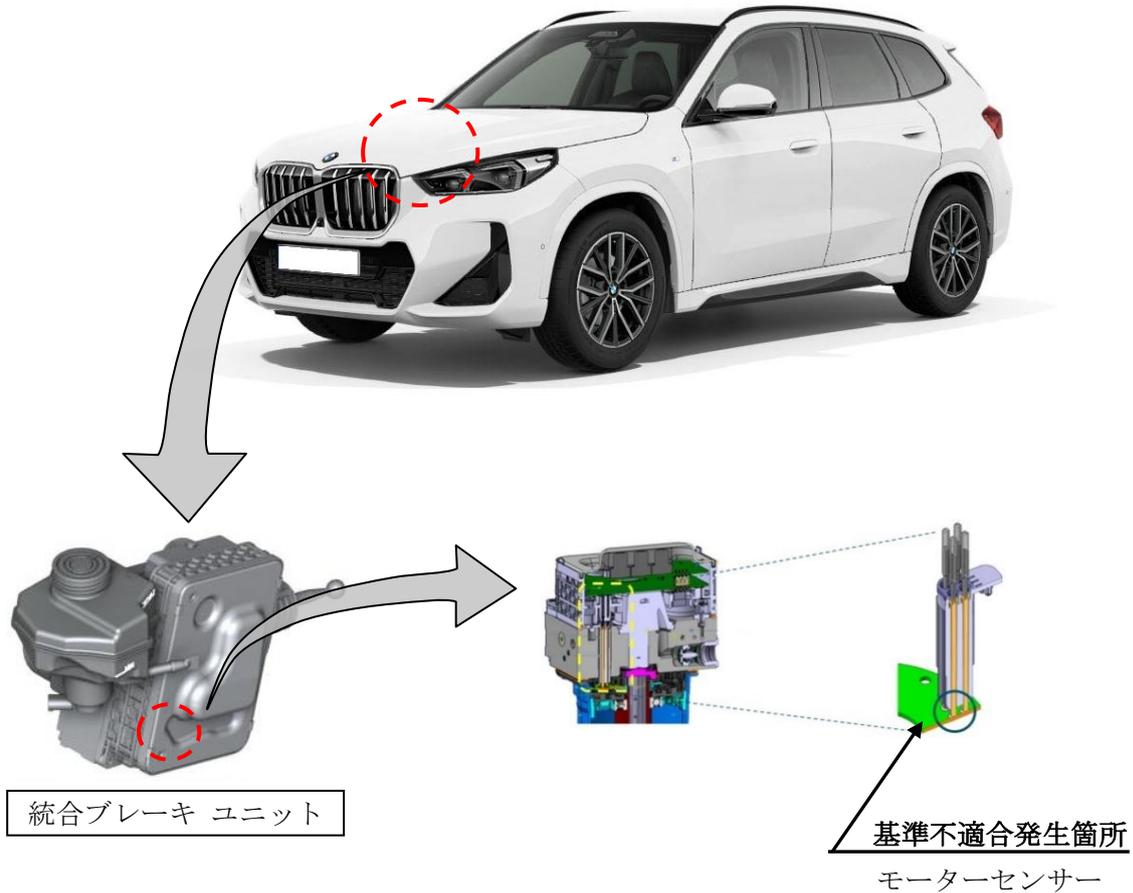


改善箇所説明図



注) は、プログラムの書き換えを行い、必要により交換する部品を示す。

不具合の内容

統合ブレーキユニットにおいて、製造管理が不適切なため、モーターセンサーの回路基板に異物が付着したものがある。また、コンタクトピン長さの設計検討が不十分なため、モーターセンサーの回路基板との接触圧によりノイズが発生する。そのため、電気的接触不良が発生し、ブレーキ警告灯の点灯およびチェックコントロールメッセージが表示される。そのまま走行を続けると、フォールバックモードとなることによりブレーキ操作時に通常よりも強い踏力が必要になり、次回にエンジンの始動ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、統合ブレーキシステムのモニタリング機能の有無を確認し、無い場合はプログラムを更新する。なお、本不具合によるフォールバックモードに繋がるリスクが事前検知された時は、統合ブレーキユニットを良品に交換する。また、全車両、モニタリング機能に関する説明を取扱説明書に追加する。

識別

- ・プログラミングを更新された車両は、左フロントドアのロウヒンジのボルト(頭)に黒ペイントを塗布する。
- ・統合ブレーキユニットを交換された車両は、左フロントドアのロウヒンジのボルト(頭)に青ペイントを塗布する。